

週間漁海況情報 2022年第7号

令和4年2月15日発行

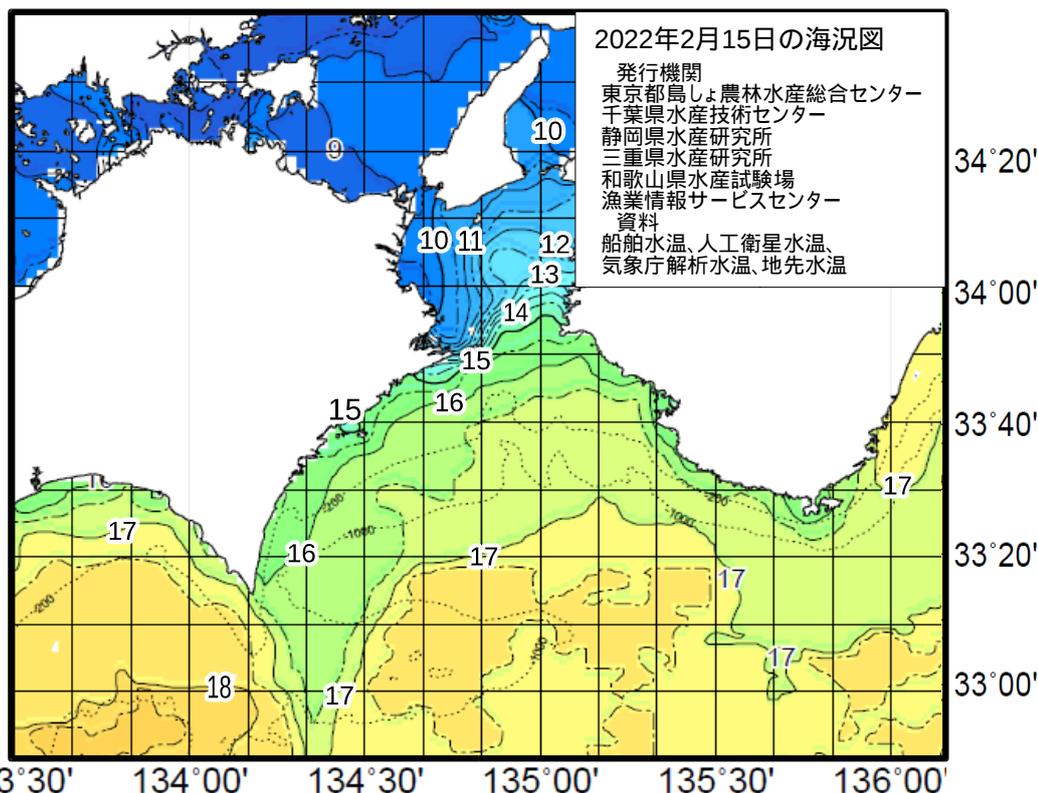
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖126マイル、潮岬沖125マイルを流れ、室戸岬、潮岬沖ともに「著しく離岸」している。このため、黒潮から紀伊水道外域への暖水波及は弱まっている。

黒潮の表面水温は20 台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘が8～9 台、紀伊水道が9～14 台、海部沿岸が13～16 台となっている。



黒潮の離接岸の表現

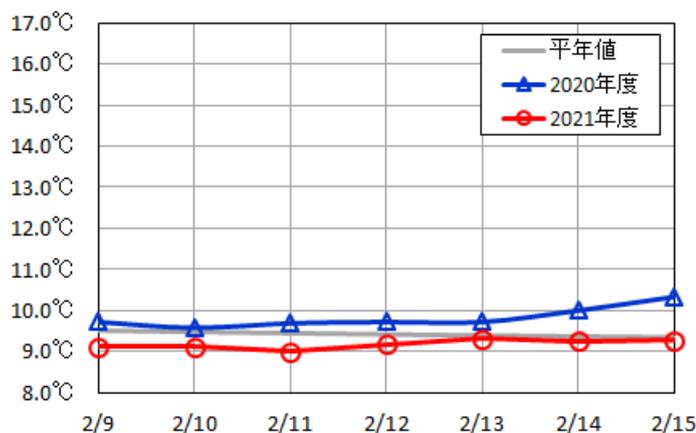
(いずれも正南方向)
室戸岬沖 接岸: ~25NM やや離岸: 25～45NM 離岸: 45～65NM 著しく離岸: 65NM～
潮岬沖 接岸: ~26NM やや離岸: 26～56NM 離岸: 56～86NM 著しく離岸: 86NM～
図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

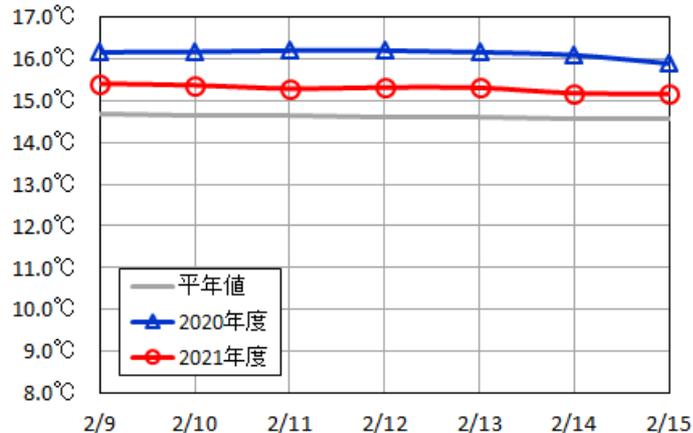
2. 地先水温(2月9日～2月15日)

鳴門地区の水温は9.1～9.3 で「平年並み」、日和佐地区は15.4～15.1 で「やや高め」に推移した。鳴門と日和佐地区の水温差は6.3～5.9 となった。

鳴門地区



日和佐地区



水温の高低 平年並み: 平年値±0.5 未満, やや高め/やや低め: 平年値±0.5 以上1.5 未満
高め/低め: 平年値±1.5 以上2.5 未満, かなり高め/かなり低め: ±2.5 以上
平年値 1984年～2018年の平滑平均値

3. 週間予報(2月16日～2月23日)

黒潮は、室戸岬、潮岬沖ともに「著しく離岸」傾向で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「平年並み」から「やや低め」、日和佐地区は「やや高め」から「平年並み」に推移する見込み。

漁況 (2月7日～2月13日)

1. 紀伊水道 (標本漁協: 4)

延縄では、ブリが増えてめじろ級主体に0.6ト、シマフグが大きく増えて0.5ト、サワラが減って特大主体に0.3ト水揚げされた。

建網では、メジナが0.3ト、タカノハダイが0.2ト水揚げされた。

小型定置網では、ブリが大きく増えて1.1ト、ボラが大主体に0.5ト、マアジが大きく減って0.2ト、ヒラメが増えて0.2ト水揚げされた。

底びき網では、シリヤケイカが大きく増えて1.6ト、コウイカが増えて大主体に1.1ト、えそ類が増えて0.4ト、マダイが大きく増えて大主体に0.4ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協: 4)

釣りでは、ブリがめじろ級主体に2.8ト、タチウオが大きく増えて1.4ト水揚げされた。

小型定置網では、カタクチイワシが大きく減って0.6ト、マアジが大きく減って豆あじ主体に0.3ト水揚げされた。

大型定置網では、マアジが増えて豆あじ主体に0.6ト、メジナが大きく増えて中主体に0.2ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり (kg)	銘柄	前週比
紀伊水道	延縄	33	ブリ	645	20	めじろ級主体	
		24	シマフグ	545	23		
		25	サワラ	300	12	特大主体	
	建網	40	メジナ	282	7		→
		38	タカノハダイ	224	6		→
	小型定置網	16	ブリ	1,088	68		
		9	ボラ	493	55	大主体	→
		12	マアジ	244	20		
		15	ヒラメ	208	14		
	底びき網	30	シリヤケイカ	1,596	53		
		34	コウイカ	1,122	33	大主体	
		34	えそ類	422	12		
19		マダイ	362	19	大主体		
海部沿岸	釣り	45	ブリ	2,846	63	めじろ級主体	→
		20	タチウオ	1,352	68		
	小型定置網	10	カタクチイワシ	617	62		
		11	マアジ	286	26	豆あじ主体	
	大型定置網	4	マアジ	622	155	豆あじ主体	
		4	メジナ	216	54	中主体	

前週比 200%以上: 120-200%: 80-120%: 50-80%: 50%未満: